

国際公共経済学会事務局

112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経済学部松原聡研究室内
HP <http://ciriec.com> / Mail japan@ciriec.com

- 今号の目次
1. 第2回春季大会、第29回研究大会のお知らせ
 2. 『国際公共経済研究』第25号投稿募集
 3. 第28回研究大会、学会4賞報告
 4. 事務局より

1. 第2回春季大会：3月9日(日)、 第29回研究大会：12月13日(土)・14日(日)のお知らせ

1. 春季大会（3月9日(日)：東洋大学）

(1) 春季大会について

若手中心の研究会として始まった春の大会を、昨年「春季大会」として開催することになり、名古屋学院大学で第1回大会が開催されました。今年は第2回の春季大会となり、東洋大学での開催になります。

この大会は、「次世代研究部会（政策 VOTE と若手報告）」、「修士論文賞審査」、「一般報告」の3つのセッションで構成されています。みなさまの参加をお誘いします。

それぞれの発表や修士論文賞について、以下に詳細を記しますので、奮ってご応募ください。

- ① 日 時：2014年3月9日(日)
- ② 会 場：東洋大学白山キャンパス
- ③ 内 容：次世代研究部会（政策 VOTE ・若手報告）、修士論文賞審査・発表、理事会、一般報告

(2) 修士論文賞の募集

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。この賞は、2013年度に提出された修士論文の優秀論文を顕彰するものです。まず、論文審査で4点以内の論文を優秀論文として選出します。また、その優秀論文執筆者は、春季大会にて報告して、その報告内容を含めて、最優秀論文1点を選出します。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

- ① 応募資格：2013年度修士論文提出者

(応募者が学会員である必要はありませんが、学会員である指導教官の推薦が必要となります。

推薦書は、HP からダウンロードしてください)

- ② 提出論文：下記の様式及び本会執筆要領による、修士論文をまとめた、12,000字の論文3部
および審査参考資料として修士論文原本のコピー1部

・目次：縮約版目次を作成し、修士論文原本の目次（原本コピーでも可）も添えて表紙の次に入れる。

・本文：修士論文の独創性、分析・検証手法を中心にまとめた12,000字のフルペーパーとする。

本文分量は、図表を含めてA4（1頁・35字×40行）9頁以内とする。

・アブストラクト（英文）およびキーワードの記載は不要とする。

・注ならびに参考文献リスト：全文末にまとめて記載する。これらは字数に含まない。

③ 締切：2014年2月10日（月）消印有効

（提出論文3部＋修士論文のコピーの郵送、メールでは受け付けません）

④ 郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部松原聡研究室内 国際公共経済学会事務局

⑤ 優秀論文審査発表：2014年2月25日（火）にHP上に掲載し、本人と指導教官に通知します。

⑥ 優秀論文報告および最優秀論文審査、発表：2014年3月9日（日）の春季大会（東洋大学）にて

(3) 春季大会若手報告募集

春季大会の若手報告を募ります。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください

① 応募資格：本会会員の大学院生（修士・博士課程）

② 発表を希望する方は、(1)所属、(2)氏名、(3)テーマ、(4)日本語のキーワード（5語程度）、(5)日本語要旨（5行程度）を、2014年2月7日（金）までに事務局にメールでお送りください。発表の可否について、事務局で簡単な事前審査を行い、1週間以内にご連絡します。

③ 宛先：japan@ciriec.com

※ フルペーパーの事前送付は必要ありません。ただし、学会誌への論文投稿を希望する大学院生は、ここで発表すれば、学会誌への投稿が認められます。ただし、発表から投稿締切まで僅かな期間しかありません。発表時までに論文をご用意することをお勧めします。詳細は事務局にお問い合わせください。

(4) 一般報告募集

春期大会の一般報告（自由論題）を募ります。

希望される方は「第2回春季大会報告希望」と明記し、(1)報告テーマ、(2)報告要旨（1,000字程度）、(3)氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）を2014年2月7日（金）までに事務局に電子メールでお送りください（書式自由）。

宛先：japan@ciriec.com

2. 第29回研究大会（12月13日（土）・14日（日）：関西学院大学）

・日程：2014年12月13日（土）・14日（日）

・テーマ：未定

・会場：関西学院大学

・実行委員長：野村宗訓（関西学院大学）

2. 『国際公共経済研究』第25号投稿募集

学会誌『国際公共経済研究』第25号（2014年9月発行予定）の投稿を募集します。査読論文、研究ノート、図書紹介、随筆等、広く募集しますので、奮ってご応募ください。

1. 査読付き論文

当学会では、学会の水準向上のために、査読制度（レフェリー制度）を設けています。査読を通った論文が学会誌に掲載されます。

② 提出論文：本会執筆要領による、12,000字の論文、3部

② 締切：2014年3月31日（月）消印有効（メールでは受け付けません）

③ 郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

東洋大学経済学部松原聡研究室内 国際公共経済学会事務局

※大学院生が投稿するには、12月の研究大会か3月の春季大会での報告が義務となっています。

2. 研究ノート、図書紹介、随筆等

事前登録は、必要ありません。

① 字数：研究ノート 12,000 字程度、図書紹介 1,500 字程度（最大 3,300 字以内）、随筆等適宜

② 締切：2014年4月20日（日）消印有効（メールでは受け付けません）

③ 郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

東洋大学経済学部松原聡研究室内 国際公共経済学会事務局

※掲載にあたりましては、編集委員会が審査します。

3. 2013 年度研究大会・学会賞報告

1. 第 28 回研究大会報告

2013 年 12 月 7 日（土）、8 日（日）に慶應義塾大学において、第 28 回研究大会が開催されました。

2. 学会 4 賞の決定

〈学会賞〉花田 真一

『再生可能エネルギー普及政策の経済評価』（三菱経済研究所・2012 年 7 月）

〈尾上賞〉応募者なし

〈奨励賞〉岩出 和也（東洋大学大学院）

「行政機関における ICT 活用の現状と課題

—情報サービス・クラウドコンピューティングの利活用とリスク—

〈修士論文賞〉春季大会にて決定予定

4. 事務局より

1. 入退会員の紹介（2013 年 3 月～2013 年 11 月）

(1) 入会（15 名）

一般会員

青木 一郎（明星大学経済学部）

辻本 政雄（早稲田大学商学部）

岩波美智子（双日総合研究所）

市川 颯（関西学院大学産業研究所）

和田真理子（兵庫県立大学）

青木 勝一（兵庫県庁）

相川祐里奈（ジャーナリスト）

学生会員

松嶋紀美子（大阪市立大学創造都市研究科）

烏蘭其其格（兵庫県立大学大学院）

渋谷 英樹（南山大学総合政策研究科大学院博士後期課程）

山本 竜也（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程）

嘎 日 迪（大東文化大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程）

伊藤 智久（東京大学大学院学際情報学府博士後期課程）

西川 直孝（大阪市立大学大学院創造都市研究科）

野村 実（立命館大学大学院社会学研究科）

(2) 退会 (8名)

伊藤ゆかり、片野結加里、武内憲治、須山延洋、萩原史朗、瀧沢弘和、八巻節夫、吉田義宏

2. 役員紹介 (2014年度)

本会の役員が改選されました。

【学会役員】(2014年度・2015年度)

会長

仲上 健一 (立命館大学)

副会長

(公共経済部会担当) 野村 宗訓 (関西学院大学)

(CIRIEC 担当) 今村 肇 (東洋大学)

(社会経済部会担当) 牧野 松代 (関西外国語大学)

顧問・名誉会長

尾上 久雄 (京都大学名誉教授)

植草 益 (電力系統利用協議会理事長)

顧問

柴田 弘文 (大阪大学名誉教授)

三浦 宏一 (世界貿易センター)

事務局長

松原 聡 (東洋大学)

常任理事

穴山 悌三 (東京電力)

植野 一芳 (大東文化大学)

衣笠 達夫 (追手門学院大学)

和田 尚久 (東洋大学)

理事

穴山 悌三 (東京電力株式会社)

有賀 敏之 (大阪市立大学)

伊藤 昭浩 (名古屋学院大学)

今村 肇 (東洋大学)

市川 顕 (関西学院大学)

植田 和弘 (京都大学)

植野 一芳 (大東文化大学)

上村 敏之 (関西学院大学)

大場 和久 (日本福祉大学)

緒方 俊雄 (中央大学)

小川 芳樹 (東洋大学)

小熊 仁 (金沢大学)

小澤 茂樹 (大同大学)

小澤 太郎 (慶應義塾大学)

片桐 正俊 (中央大学)

加藤 恵正 (兵庫県立大学)

金子 勝規 (大阪市立大学)

川口 清史 (立命館大学)

菊池 尚人 (慶應義塾大学)

岸 真清 (中央大学)

北村 裕明 (滋賀大学)

衣笠 達夫 (追手門学院大学)

楠田 昭二 (立教大学)

栗本 昭 (生協総合研究所)

阪本 靖郎 (関西国際大学)

桜井 徹 (日本大学)

白石 真澄 (関西大学)

田端 和彦 (兵庫大学)

田平 正典 (南山大学)

内藤 二郎 (大東文化大学)

仲上 健一 (立命館大学)

中村伊知哉 (慶應義塾大学)

西田 亮介 (立命館大学)

西村 陽 (関西電力株式会社)

野村 宗訓 (関西学院大学)

林 紘一郎 (情報セキュリティ大学院大学)

堀 雅通 (東洋大学) 牧野 松代 (関西外国語大学)
益田 安良 (東洋大学) 松原 聡 (東洋大学)
水田 健一 (名古屋学院大学) 水谷 文俊 (神戸大学)
村上 亨 (追手門学院大学) 森 恒夫 (甲南大学名誉教授)
諸富 徹 (京都大学) 矢島 正之 (電力中央研究所)
横山 彰 (中央大学) 和田 尚久 (東洋大学)
若井郁次郎 (大阪産業大学)

監事

石綿 晃 (目黒区国際交流協会) 伊藤 祐子 (格付投資情報センター)

【学会事務局】(2014年度・2015年度)

事務局次長

伊藤 昭浩 (名古屋学院大学) 西田 亮介 (立命館大学)

幹事

柏木 恵 (キャノングローバル戦略研究所) 齊藤由里恵 (徳山大学)
手塚広一郎 (日本大学) 花田 真一 (金沢星稜大学)
藤井 大輔 (運輸調査局) 山口 翔 (名古屋学院大学)
山田 航 (兵庫県立大学)

【各種委員会】

CIRIEC 委員会 (2014年度・2015年度)

委員長: 今村 肇 (東洋大学)

次世代研究部会企画委員会 (2014年度・2015年度)

委員長: 西田 亮介 (立命館大学)
副委員長: 山口 翔 (名古屋学院大学)

第29回研究大会実行委員会 (2014年度)

委員長: 野村 宗訓 (関西学院大学)
副委員長: 伊藤 昭浩 (名古屋学院大学)

『国際公共経済研究』第25号編集委員会 (2014年度)

委員長: 植野 一芳 (大東文化大学)
副委員長: 菊池 尚人 (慶應義塾大学)

学会4賞選考委員会 (2014年度・2015年度)

委員長: 今村 肇 (東洋大学)
副委員長: 伊藤 昭浩 (名古屋学院大学)

3. 年会費納入について

会費未払いの方には、納入をお願いします。納入状況については、事務局にお問い合わせください。

4. その他の今後の主な学会行事予定

- ・2014年9月: 次世代部会合宿
- ・2014年10月29日(水)～31日(金): 第30回 CIRIEC 国際大会 (アルゼンチン・ブエノスアイレス)

学会賞規定、および執筆要領

修士論文賞規定

- 1 (目的) 国際公共経済に関する大学院修士課程修士論文等を顕彰し、修士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会修士論文賞を設け、優秀なる修士論文等を審査選定してこれに賞を授与し、その業績を顕彰する。なお、「修士論文等」および「修士課程在籍者に準ずる者」の詳細については、理事会で決定する。
- 2 (表彰) 受賞は毎年4点以内とする。受賞者には、毎年3月に開催される「春季大会」での報告と、論文の学会誌掲載が認められ、優秀賞の賞状を授与する。さらにそのうち1点を、最優秀賞とし、賞状と記念品を授与する。
- 3 (論文の応募資格) 当該年度修士論文等の提出予定者
なお、修士論文賞応募者については、学会員であることは不要とするが、「学会員である指導教官の推薦書」を必要とする。
- 4 (応募論文) 応募論文は、修士論文を12,000字以内にまとめたフルペーパーとする。
- 5 (公募) 本賞は、毎年1月に公募を開始し、2月10日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6 (審査) 審査委員会は、応募論文を審査し、3月1日までに4点以内の受賞作を決定し、発表する。また、この受賞作の春季大会での報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して最優秀賞を決定する。
- 7 (報告) 研究会において審査委員長は、審査の経過を報告して、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
著書(単独)の場合 執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
著書(複数)の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
論文の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出：事務局に郵送にて3部提出。
学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。
返信のない方は、事務局までお問い合わせください。